

2005～2006年度 RI第2640地区インターアクトクラブ国際交流会報告書

開催日時：平成18年2月19日(日)

開催場所：堺女子高等学校(堺女子短大校舎)

ホスト校：堺女子高校インターアクトクラブ
松原高校インターアクトクラブ

去る2月19日(日)、堺女子高校(堺女子短大校舎)において本年度のRI第2640地区インターアクトクラブ国際交流会が実施され、ロータリアン55名、米山奨学生15名、AET7名、インターアクター・顧問の先生94名の合計171名が参加しました。

午前中は、関西セレブ学院講師の平岩裕子先生による「正しいお箸のマナー講座」が行われ、留学生・AETとインターアクターが共に日本の伝統文化と美意識について学びました。食事のマナーはなぜ必要なのか(感謝の気持ちの表現であること)、お箸の国 日本と他国との違いについて(お箸だけで食事をするのは日本のみであること)、日常使うお箸の種類に関する説明の後、割り箸の割り方、箸袋の扱い方、箸置きを使い方、お箸の取り方、持ち方、動かし方や使い方、お箸のマナーとタブー、またお箸とお椀の持ち方、椀物料理の食べ方等を、講義に交えて遊びとゲームで練習しました。本来正しいとされる持ち方で釘やクリップをつまんだりティッシュペーパーを割いたりする練習は、AETや留学生のみならず、インターアクターたちにとってもなかなか難しく、慣れない手つきでお互いに確認し合いながら、和やかな雰囲気の中で講座が展開されました。そして昼食時には、午前中でお箸と椀物料理の食べ方を実践し、日本人独特の美意識や礼儀作法の奥深さを、日本人と外国人が共に学び相互交流活動を行うよい機会となりました。

午後は7つのグループに分かれ、大阪府下の公立高校に勤務している外国人講師による自国の文化紹介アクティビティ：「ケルト芸術」、「イギリス料理」、「アリゾナ文化」、「オーストラリア文化」、「旅行による国際理解」、「クリケット」、「イギリスの紅茶」講座が行われました。「ケルト芸術」講座では、定規を用いて規則的に鉛筆で画用紙に図形を描く方法を学び、「イギリス料理」講座ではパンケーキ、キッシュ、ヨークシャー・プディングの作り方、クリームティーについての紹介と、スコーンの試食をしました。「アリゾナ文化」講座ではパソコンによる合衆国アリゾナ州の文化紹介、ゲーム、会話練習を行い、「オーストラリア文化」講座ではテレビ、音楽、写真による文化紹介やゲームを楽しみ、オーストラリアのお菓子を試食しました。「旅行による国際理解」講座では、27カ国を旅行した講師の体験を交えながら、旅行の良さや大切さ、英語を学ぶ意義等をゲームやクイズなどを通して学び、「クリケット」講座では野球の原型であるスポーツを体験し、簡単な英会話の練習や、オーストラリアのベジマイトサンドイッチの試食もしました。そして「イギリスの紅茶」講座ではイギリスでの紅茶の入れ方や飲み方を実際に体験し、紅茶に関する知識を深めました。どの講座も講師のAETがよく準備して下さり、参加した生徒たちは楽しんで異文化に触れ、グループ内で交流を深めていました。

そして1時間の講座後には、各グループが壇上で活動内容や感想を発表し合い、生き生きと個性あふれるそれぞれのプレゼンテーションが展開されました。ロータリアン、外国人、インターアクターたちが異文化と一緒に学び、楽しんで交流を図ることが出来るこのような行事を今後も継続し、さらに各個人が未知なる世界に対し視野を広げていけるような機会にしていくことが大切だと感じました。

報告者：堺女子高等学校インターアクトクラブ顧問 中西千恵